



威勢よくかつぎ回る子どもたち

## 秋恒例の諏訪まつり開催

秋恒例の諏訪祭りが川額八幡宮、森下大森神社でそれぞれ開催されました。川額地区では9月28・29日に開催。天



色々な仕度で八木節音頭

候は雨でしたが、八木節や昭和音頭などおなじみの曲をみんなでおどりました。2日目の午後8時30分すぎになると、子ども達の手により境内に2基のまんどろが入場。7回めぐりを行いながら威勢よくまんどろをぶつけあいました。森下地区では9月30日・10月1日に開催。子どもからお年寄りまで数百人がまつりを見物し、大盛況でした。こちらでも2日目の9時すぎに7回めぐりが行われ、多くの見物客の見守る中、激しくまんどろをぶつけあいました。

## 80歳以上のお年寄りに敬老祝金を贈る

村と村社会福祉協議会では村内の80歳以上のお年寄り61人に敬老祝金を贈りました。

80歳から89歳のお年寄りには、各地区の民生委員が訪問。90歳以上のお年寄りには9月8日に、加藤村長・高橋同協議会長・民生委員代表らが訪問しました。加藤村長は久呂保地区方面を訪問。

「いつまでも元気で長生きしてください」と声をかけ、祝金を手渡していました。また、川額にお住まいの小林てるさんが9月16日に100歳を迎えられました。

現在は沼田市の恵寿の園に入所なさっています。誕生日翌日の17日には加藤村長・吉野議長・高橋協議会長らがてるさんを訪問。祝金と記念品をてるさんに直接手渡しました。

てるさんはとてもお元気で、100歳とは思えないほど。「好き嫌いはありますか？長生きの秘訣は？」などの質問には「実は好き嫌いはあるんです。わがままに生きてきたから自由にしていることが秘訣ですかね」と笑顔で答えていました。



長寿にあやかる？てるさんと記念写真

## 池原区が

### 道路愛護で県表彰

9月1日、平成16年度の優良道路愛護団体等の表彰式が、群馬県庁28階で行われました。

これは県、県道路協会の主催により、毎年春と秋の道路愛護運動などで活躍した団体や個人に贈られているもので、本村では池原道路愛護会（代表 吉澤和男区長）が道路愛護団体優良の部で表彰を受けました。おめでとうございます。今後とも、村民皆さまのご協力をお願いします。



表彰を受けた吉澤和男区長



トップは誰だ。リレーマラソン

## 赤谷・追分で水くみ祭り開催

9月23日、赤谷住民センターで水くみ祭りが行われました。

この『水くみ祭り』は、三代目（代表星野高章）が企画。区などの協力を得て



ドラム缶風呂で汗を流す星野代表

開催に漕ぎ着けたものです。

村指定文化財の『出入の湧水池』から住民センターまで三人一組で水を運ぶ速さを競う水汲みリレーマラソンや我が家の料理コンテスト、ドラム缶風呂などいくつかのイベントが行われ、参加者達は楽しい一日を過ごしました。

星野代表は「この地を開拓してくれた世代とそれを引き継いだ世代、その開拓魂を忘れないためにこの祭りを始めました。今年の評判が良ければ来年以降も続けていきたい」と力強く語っていました。

## 高砂・ひまわり大学で教室開催

高砂大学第5回教室・ひまわり大学の第2回教室がそれぞれ開催されました。

9月22日には高砂大学の第5回教室が大河原小学校で開催。35人の大学生が参加しました。

大学生達は、授業参観などで学校の様子を勉強。午後からは、大学生が教える側に回りグラウンドゴルフ、輪投げ、スマイルポウリングなどで生徒達と仲良く交流。楽しいひとときを過ごしました。

10月5日には、ひまわり大学の健康づくり教室が村公民館多目的ホールで開催



こう投げるとだよ（高砂大学）

され23人が参加しました。この日は、アロマテラピーと健康体操をテーマに教室が行われ、大学生は心地よい汗を流していました。



ハイ、ひねって～（ひまわり大学）

## 秋の全国交通安全運動を実施

### 運動を実施

9月21日から30日まで秋の県民交通安全運動が行われ、9月24日に貝野瀬信号と森下信号の2カ所、村交通安全協会と村交通指導員らが交通安全街頭指導を実施しました。通りかかる車を一台ずつ止めながら、交通安全などを呼びかけました。

この運動は、「高齢者の交通事故防止」、「夕暮れ時と夜間の交通事故防止対策の推進」、「シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」を重点実施事項として実施されています。



森下信号前での街頭指導